

事業所名		放課後等デイサービスきだっこ				公表日		令和7年 3月 15日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	訓練指導室の他に、屋上ひろばやブレイルームもあり、身体を動かす事ができるスペースも完備されています。				
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	国の指定基準より職員の人数を多く配置しています。					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	トイレトペーパーの1度に使用する量が多く、詰まったことがあります。トイレトペーパーの使い方（使用する長さや、ちぎり方）を掲示し、子どもたち一人ひとりに説明をしています。また、トイレにトイレトペーパー以外の物を流し、詰まらせてしまったこともあり、トイレの使い方は適宜説明をし、トイレにも分かりやすく掲示しています。					
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	日々の掃除や整理整頓、冬場は加湿器を使用するなど、子どもたちが過ごしやすいよう環境作りを行っています。 曜日（特性）に合わせて訓練指導室のレイアウト変更をし、落ち着いて過ごせるよう環境の配慮を行っています。					
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個室で静かに宿題に取り組んだり、支援者とお話がある時、お友だちと喧嘩をしてパニックになった際に、クールダウンをするために使用しています。落ち着いて遊びたい時や、集中してアイロンビーズを行いたい時にも使用している為、子どもたちは自由に出入りできています。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	月に1回の放デイ会議を開催し、職員が意見を出し合い、対策を検討しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	月に1回の放デイ会議にて職員に周知し、改善策を検討しています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に1回の放デイ会議を開催し、職員が意見を出し合い、対策を検討しています。職員間で共通の理解、支援を深めていこうと思います。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	今年度、初めて第三者評価を行いました。評価結果を元に業務改善を行っています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	職員各々、身に付けたいスキルに応じて積極的に研修に参加しています。				
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1						
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1						
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	毎日の振り返り時間や、月に1回の放デイ会議にて、どのように支援をしていくか話し合いを行っています。	段階的に子どもたちが成長できるように職員間で揃えた支援を行っていきます。				
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1						
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	病院で発達検査を受けた際に、了承を得た家庭には結果票のコピーをいただいています。日頃の様子と発達検査結果を元にアセスメントを行っています。					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子どもたちの苦手分野を話し合い、内容を検討しています。	子どもの発達には個人差があるため、単発的にならないように段階を踏んで計画をすることに努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		日々の打ち合わせをもっと煮詰め、職員各々の役割分担をしっかりと話し合い、支援を行えるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	良かった点、残念だった点、次回はどうか（支援するか）を話し合い、1日の反省を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		公園遊びでしか「地域交流」は行えていない為、しっかりと努めています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	発達レベルに合わせて選択肢の内容を変えて支援をしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		保護者から聞き取った情報のみになっています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5		まだそのような事例が無いため、子どもたちが学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、支援内容等の情報の提出に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		コミュニケーションをしっかりと図り、そのような機会を設けていけるように努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	公園で出会った子どもたちと遊ぶことがあります。	児童クラブや児童館との交流を行っていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	児童通所事業連絡会に参加し、事例検討や今後について話し合いを行っています。今後も継続的に参加していきます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や、HUGシステムを利用し、コミュニケーションを図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		専門的な知識が必要なため、準備をした上で取り入れていきたいと思っています。来年度は、実施を検討しています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	今年度より、年に2回保護者交流会を実施しています。きょうだい児も一緒に参加してもらっています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		普段から何かあればHUGシステムを活用し連絡を取っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		来年度、木田の里全体で、地域住民を招待し行事を行う予定です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		訓練は行っていますが、保護者に周知までが行き届いていないため、改善していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	放課後等デイサービスだけではなく、木田の里全体での訓練も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		現在対象児はいません。今後、食物アレルギーのある子が利用されたらしっかり対応に努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	気づきメモを使用し、再発防止に努め、職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	毎月の放デイ会議にて虐待の事例検討を行い、適切な対応方法を話し合っています。研修にも参加をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3		身体拘束を行う事例はありません。	